

# スーパーシティ法案の検討経緯について

内閣府地方創生推進事務局

平成30年(2018年)

10月23日 国家戦略特区諮問会議

・片山大臣より、「スーパーシティ」構想の検討を表明

10月29日 「スーパーシティ」構想の実現に向けた有識者懇談会第1回

※以後、11月15日、11月26日に開催

12月17日 国家戦略特区諮問会議

・有識者懇談会中間とりまとめを提示

・総理より、スーパーシティについて早急に検討を進める旨指示

平成31年/令和元年(2019年)

1月15日・2月6日 同有識者懇談会第4回・第5回

・最終報告案について議論(最終報告について座長一任)

2月14日・4月17日 国家戦略特区諮問会議

・有識者懇談会最終報告を提示(2/14)

・総理より、スーパーシティ早期実現の取組を進める旨指示(2/14)

・スーパーシティ早期実現のための新制度の概要を提示(4/17)

6月7日 「国家戦略特別区域法及び構造改革特別区域法の一部を改正する法律案」閣議決定・国会提出

※同法案について、6月26日に一旦廃案とする旨決定。

廃案理由：①国会会期の制約 ②国家戦略特区においてスーパーシティ以外の追加の規制改革事項がありうること

8月28日 「スーパーシティ」構想の実現に向けた有識者懇談会第6回

・相互運用性の確保等に関する検討会を設置する旨報告

9月7日 スーパーシティ/スマートシティの相互運用性の確保等に関する検討会第1回

※以後、10月18日、12月4日、2月20日に開催

9月30日・12月18日 国家戦略特区諮問会議

・前国会提出法案を踏襲し、調整を進める旨報告(9/30)

・総理より、法案の早期実現に向けて取り組む旨指示(12/18)

※臨時国会への国家戦略特区法改正案は見送り。

令和2年(2020年)

1月31日 スーパーシティ/スマートシティの相互運用性の確保等に関する検討会 中間報告

2月4日 「国家戦略特別区域法の一部を改正する法律案」閣議決定・国会提出

令和2年4月15日(水)衆議院地方創生に関する特別委員会

亀井亜紀子(立憲民主・国民・社保・無所属フォーラム) 出典：内閣府資料

「スーパーシティ」構想の実現に向けた有識者懇談会 有識者名簿

株式会社サキコーポレーション ファウンダー

秋 山 咲 恵

医療法人社団湊志会瀬田クリニック代表

阿曾沼 元 博

東洋大学情報連携学部 INIAD学部長

坂 村 健

東洋大学教授

慶應義塾大学名誉教授

(座長) 竹 中 平 蔵

日本大学経済学部教授

中 川 雅 之

アジア成長研究所理事長

大阪大学名誉教授

八 田 達 夫

株式会社政策工房代表取締役社長

(座長代理) 原 英 史

令和2年4月15日(水) 衆議院地方創生に関する特別委員会

亀井亜紀子(立憲民主・国民・社保・無所属フォーラム)

出典:内閣府ホームページ

Top Message

## トップメッセージ

南部靖之グループ代表

竹中平蔵会長

### パソナグループの仕事は「人を活かす」こと

パソナグループの仕事は何ですか？と聞かれたら、「人を活かすことです」と私は答えます。たとえば、年齢が高いためになかなか仕事を見つけれない人のためには、その人の能力や経験を活かせる場を見つける努力をする。経験の足りない人のためには、教育・訓練を行い、その人の可能性を引き出すためのお手伝いをする。つまり、「働きたいと願う誰もがそれぞれのライフスタイルに合わせた働き方で、自由にイキイキと、自信と誇りをもって活躍できる社会をつくること」。それが私たちの仕事なのです。より良い社会をつくるため、社会に呼びかけ、変革を実現し、社会に貢献する人々を“ソーシャル・アクティビスト”と呼びます。パソナグループは、そのような人たちの集合体でありたいと願っています。



働くとは“自分自身を表現すること”です。つまり「生き方」そのものであり、生きざまでもあります。自分が働くことで人に喜ばれ、いかに周りを豊かにするか。働くことを通して夢・志を実現し、結果としていかに社会に貢献するか。そういったことが大切だと私は思っています。高い志とチャレンジ精神に溢れるパソナグループの仲間たちとともに、「誰もが自立した個人として夢をもって活躍できる社会」の実現にむけて、一緒に挑戦していきましょう。

NAMBU YASUYUKI.COM  
南部長代表のオフィシャルウェブサイト

南部靖之が日々考えていること、  
感じることなどを発信しています。

株式会社パソナグループ  
代表取締役グループ代表

南部靖之

### 個人の自由な労働が社会・経済を発展させる」

経済学の父 アダム・スミスが『国富論』で、「市場には“神の見えざる手”が働いて、自由に経済活動が行われる中で最適な社会秩序がもたらされる」と説いたのは1776年。アメリカの独立宣言が行われた年のことです。それから230年、世界の経済・社会は大きな変化を遂げてきました。そして、今この瞬間も変化は起こっています。そのような中で私たちに必要なのは、“健全な挑戦者の心”を持って、変化にひるむことなくチャレンジし続ける、そういうマインドセットを持つことであると思います。



その上でアダム・スミスのもう一つの貢献は、「価値の源泉が労働である」ということを明示的に述べたことです。当時は、たとえば海外の植民地から金銀を持ち帰ることで国を豊かにしようというような、国が商業資本を支配する「重商主義」という考え方が主流でした。それに対してアダム・スミスは、「そうではない。自由な競争が国全体を豊かにする。人間の労働が価値を生み出すのだ」と主張しました。私たちパソナグループは、「誰もが自由に好きな仕事を選択することができ、それぞれのライフスタイルに合わせた働き方ができる社会」を目指しています。これはまさにアダム・スミスが考える社会のあり方にも通じるものです。

現在、少子高齢化とグローバル化、またIT化の急激な進行により、日本の労働市場は大きな変化の時を迎えています。同じ職種の仕事であれば、賃金は地球規模で比較して低い水準に収斂していき、単純作業はますますコンピュータにとって代わられるでしょう。このような状況下で日本の経済・社会を豊かにしていくためには、人材という最も重要な“資源”をフルに活かし、社会全体の生産性を向上させることが不可欠です。そのためには、多様な価値観を認め、労働を通じて各人が自立する仕組みのあり方も問われます。一人ひとりの個人が自由に仕事を選び、自己実現をはかる。それが人生を豊かにし、結果的に経済を成長させ、国を豊かにする。日本の

パソナグループ  
インターンシップ情報

## ① INFORMATION

[地方創生 淡路プロジェクト採用情報](#)

[キャリア採用 正社員・契約社員 募集中](#)

[地方創生 長崎県 産学連携 採用情報](#)

## パソナグループ 採用情報

- ▶ 新卒採用情報
- ▶ キャリア(中途)採用情報
- ▶ 障害者採用情報
- ▶ 淡路プロジェクト採用情報
- ▶ ミュージックメイト
- ▶ エルダーシャイン採用情報
- ▶ Middles Be Ambitious制度

自分のキャリアは自分で作る！ WEBマカシ  
**INITIATIVE**

令和2年4月15日(水)衆議院地方創生に関する特別委員会

亀井亜紀子(立憲民主・国民・社保・無所属フォーラム)

出典：株式会社パソナグループ ホームページ